



岡山市 男女共同参画情報誌

# DUO

2022

Vol.  
**47**

♪「デュオ」は英語で二重唱（奏）の意味です。

寄稿

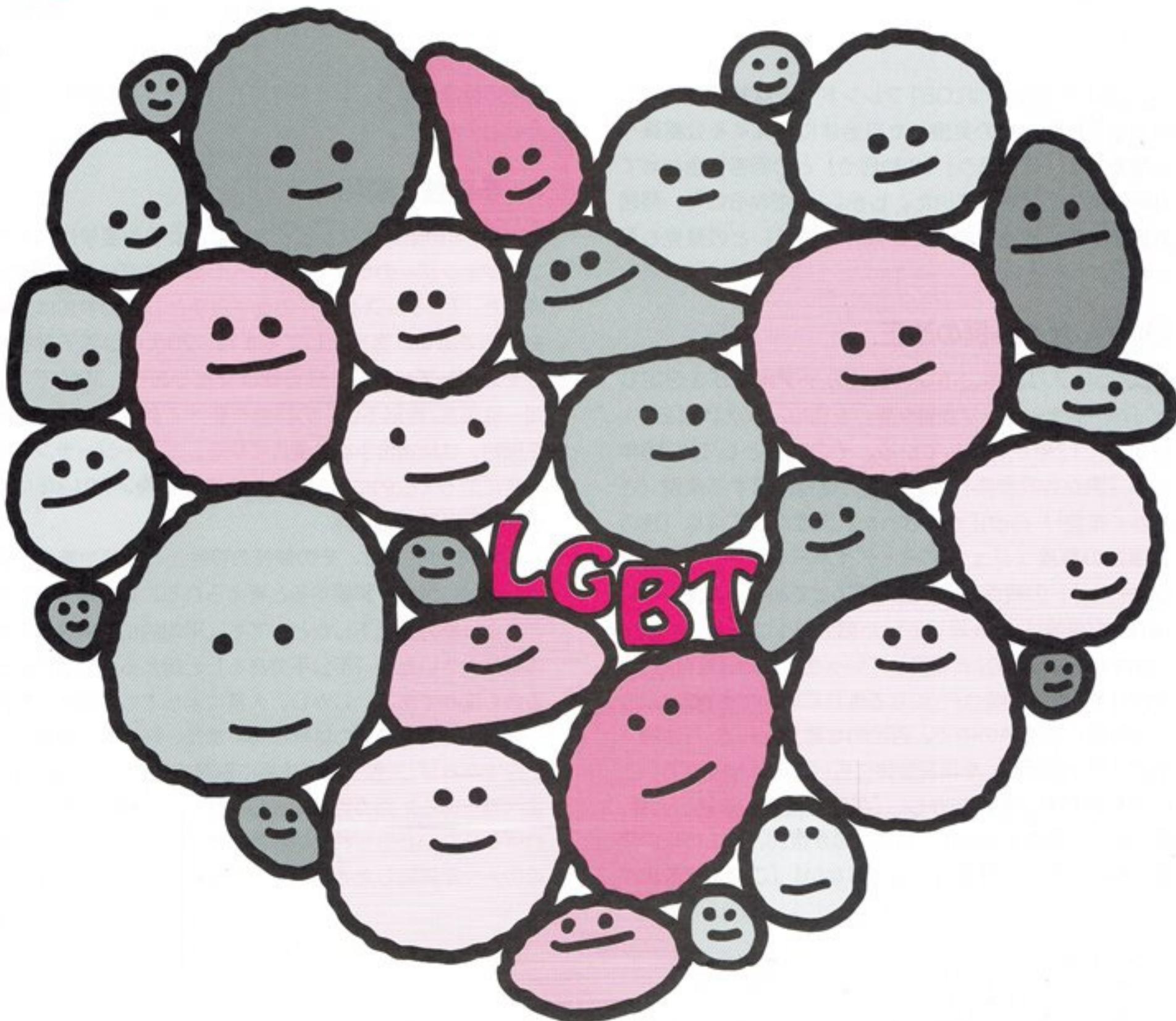
## 多様性の時代

岡山市は全ての人々が生きやすいまちか

岡山大学大学院保健学研究科教授 中塚 幹也 氏

特集

働きやすい社会へ 広がる企業の取り組み Q&A



# 多様性の時代

## 岡山市は全ての人々が生きやすいまちか

岡山大学大学院保健学研究科教授 中塚 幹也



中塚 幹也 氏  
岡山大学医学部卒。医学博士。岡山大学ジェンダークリニック医師。GID（性同一性障害）学会理事長。岡山市男女共同参画専門委員会委員。倉敷市出身、1961年生。「封じ込められた子ども、その心を聴く：性同一性障害の生徒に向き合う」など著書多数。

「あなたの自治体はLGBTフレンドリーな社会であると思うか？」私たちの実施した自治体に所属する公務員への調査では「そう思う」「やや思う」との回答を合わせても約1割にとどまっていた。しかし、「だからこそ、問題意識を持ち、改善に向けた政策が必要だ」との意見も見られた。

### ✿ さんかく条例の改正

2020年7月、岡山市は、同性カップルなどを想定した「パートナーシップ宣誓制度」を開始、2021年12月1日までに12組が利用している。その前提として2019年には「男女共同参画社会の形成の促進に関する条例（さんかく条例）」の改正がなされた。大きな改正点は「性の多様性の尊重（ジェンダー・ダイバーシティ：Gender Diversity）」の視点を盛り込んだことである。条文の中の「男女が(平等)」と表現していた部分を1つ1つ「性別等にかかわらず(平等)」と変更していった。また、「性自認(心の性)」や「性的指向(好きになる性)」についても言及した。

条例改正の議論の中で、否定的な意見として「『性的マイノリティの問題』を市民全体に広げるのは早すぎる」というものがあった。しかし、「市民の性別、年齢、人種、障がいの有無などは多様、多様なのが市民、その市民の問題を解決するのに早過ぎることはない」「この条例改正が

啓発の契機になる」などの肯定的な意見が打ち消してくれることになった。

### ✿ 多様性と調和

2021年の東京オリンピックでは、女子重量挙げにトランジンダーの女性であるローレル・ハバード選手が出場した。「トランス女性」の女子選手としての参加は五輪史上初である。男性として生まれ、20代には男子選手として活躍していたが、性自認は女性であり、30代で「性同一性障害/性別不合」の診断を受けて女性ホルモン治療を開始、性別適合手術も受けている。ニュージーランドの制度に沿って公的にも「女性」となった後、2013年に女子選手へと転向した。

「重量挙げ」では、その競技の特性上、体格や筋力の強さが記録に大きく影響すると考えられる。女性ホルモンなどにより筋力が低下したとしても、平均的には男性の方が体格は大きいため「不公平である」と訴える女性選手がいるのも確かである。しかし、人種によっても平均的な身長や体重、筋肉量や筋力は異なる。また、経済的に恵まれない国であれば、栄養状態が体格に影響するかもしれないし、食べ物を得るために労働でトレーニングの時間を削らなければならぬかもしれない。多様性を否定していくは、多くの人々を排除したオリンピックになってしまふ。このた

め、オリンピックは「多様性と調和」を大きなテーマとし、その実現を求めており、「人種、肌の色、性別、性的指向、言語、宗教、政治、障がいの有無など、あらゆる面での違いを肯定し、自然に受け入れ、互いに認め合うことで社会は進歩する」としている。勝敗を競うオリンピックでさえ、多様性を認めようとしているのである。

### ✿ ジェンダー・ギャップ指数

岡山市の人々が条例改正の議論の中で出てきた、もう1つの否定的意見は「女性差別をなくす方が先決」というものであった。ジェンダー・ギャップ指数（経済、教育、健康、政治の4分野14項目で男女比率などを分析して点数化）が156カ国中120位の「現在の」日本においては女性の登用推進は必要な措置である。しかし、女性の権利を保障することと性的マイノリティの人々の権利を保障することは対立することではない。岡山市、そして日本が目指すのは「女性が輝く」か「男女平等」か、それとも「性別等にかかわらず平等」か。

### ✿ 性的マイノリティを知らない人たち

小学生たちに「個『性』ってなんだろう?」という授業をした。いろいろな多様性の中で「性の多様性」についても話したし質問もした。小学生たちは「性別にかかわりな

く」素直にいろいろ話してくれた。子どもたちも気づくことが多かったと思われるし、私や学校の先生方が気づかされることも多かった。残念ながら、一定年齢以上の人々の多くは、「性的マイノリティの人々はいないもの」とした学校で「性の多様性」についての情報に触れないまま大人になってしまった。今ここで立ち止まって、適切な情報に触れ考える時期に来ていると思う。

### LGBT

LGBTとは、性的指向（好きになる性）の視点での少数派であるレズビアン（L）、ゲイ（G）、バイセクシュアル（B）と、性自認（心の性）の視点での少数派であるトランスジェンダー（T）の頭文字を並べたもの。LGBTQ（クエスチョンング、クィアなどのQを加える）、LGBTQ+（すべての性的マイノリティを含むニュアンス）という言葉も使われる。トランスジェンダーのうちホルモン療法や手術療法を希望して医療施設を受診した場合の診断名が「性同一性障害/性別不合」である。

注：本文章の詳細についてお読みいただく場合は、Yahooオーナー 中塚研究室「生殖とジェンダーの今」<https://news.yahoo.co.jp/byline/mikiyanakatsuka>をご参照いただきたい。

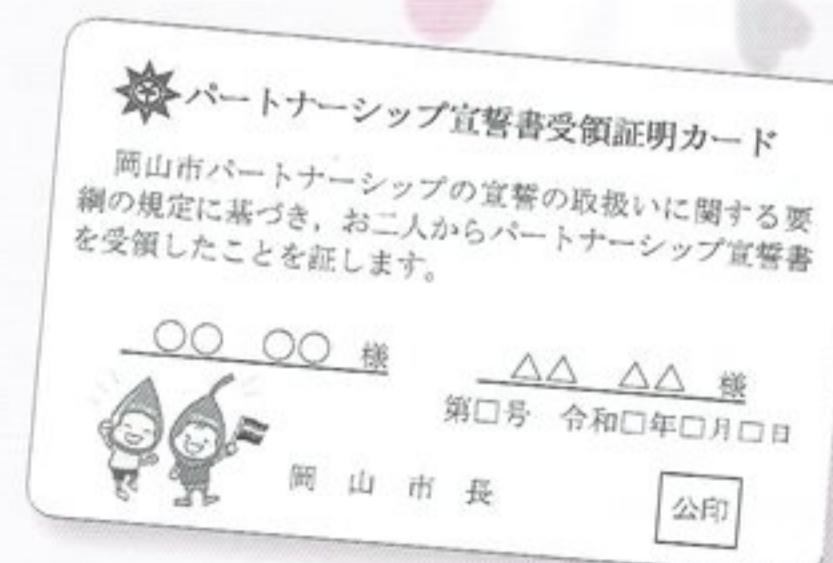
## 岡山市パートナーシップ宣誓制度を 知っていますか？

性的マイノリティのカップルの希望により、パートナーシップ関係であると宣誓を行い、市は、「パートナーシップ宣誓書受領証」と「パートナーシップ宣誓書受領証明カード」を交付します。

受領証の提示により、市営住宅の入居申込をはじめとする行政サービスや一部携帯電話会社の家族割の適用などの民間サービス（事業者にお問い合わせください）を受けることが可能となります。

岡山市パートナーシップ宣誓制度

検索



# 働きやすい社会へ 広がる企業の取り組み

Q&A

多様な勤務時間や新しい休暇制度を取り入れるなど、社員の「働きやすさ」に着目し、率先して働き方改革に取り組んでいる企業2社にお伺いしました。

## ■誌面編集について

この誌面は、新型コロナウイルス感染防止のため対面取材を避け、あらかじめ、両社に質問事項を提出。回答をいただいた文章をインタビュー風に編集したものです。

## 株式会社シーズ

本社：岡山市北区駅元町。代表取締役平川清高。1998年設立。組織・人事コンサルティング、人材紹介、教育研修サービス等を業務とする総合人財サービス業。従業員28人。

ら業務にあたっているようです。

但し、育児休業取得者は全員が女性社員であり、今後は男性社員の取得を推進することが課題だと考えています。

### 従業員の声

#### ■事務職 女性（20代）……………

当社は女性社員の割合が高くワーキングママとして活躍する社員が多かったのと、会社から毎月社内の様子がメールで送られていたため安心して育児休業から復帰することができました。

復帰してからも1時間単位の年次有給休暇を取得できるため、子どもの通院に付き添う際に利用しています。

時代に合わせた制度を取り入れている会社に感謝しています。核家族化や共働き世代が増えている背景に社会全体が向き合い変化していくべきだと思っています。

## Q さらに目指すのは

当社は、2019年7月にくるみんマークの認定、2020年1月、岡山市ホワイトプラス企業として表彰を受けました。その後、新型コロナウイルスが流行し、テレワークが一般的になってきましたが、当社は既に2019年12月にテレワーク制度を導入していました。産前休暇取得が間近となった社員が体調不良（腰痛、おう吐）に悩まされ、通勤せず自宅で仕事をしたいと希望したことがきっかけでしたが、コロナ禍の現在は約9割の社員がテレワークを行っています。

今後も必要があれば新たな制度を導入したいと考えています。そのために、社員の意見に耳を傾け、あらゆる角度から会社の制度を見つめ直して働きやすい労働環境を目指します。



代表取締役 平川清高 氏

## Q 「働きやすさ」の取り組みについて

当社は女性社員の比率が高く、育児休業を取得する社員が多いのですが、育児休業から復帰した社員の「男女共に働きやすい労働環境へ改善してほしい」という声があり、2016年10月、労働環境について見直す男女共同参画プロジェクトを立ち上げました。

社員の働きやすさについて話し合い、多様な休暇制度や勤務体系の導入をはじめ、育児休暇や介護休暇の見直しなどを検討し、最終的に「ワークライフバランス規定」として再整備しました。

内容としては「ワークライフバランス休暇」や1時間単位の年次有給休暇をとり入れることで休暇を取りやすくしました。また、時差出勤を導入し多様な勤務体系にしています。

また、育児や介護の支援にも力を入れています。小学3年生以下の子供がいる社員には短時間正社員という制度を利用できるようにし、所定外労働を課さないようにするなど育児と仕事が両立できるようにしています。介護についても介護休業や介護休暇など法令以上のものを整備しています。

女性の活躍やワークライフバランスを推進することで社員の満足度の向上を目指しています。

## Q 課題や成果は

「ワークライフバランス規定」に基づいて再整備された労働環境は社員の要望に合ったものになっていると思います。特に育児休業については規定リリース後の育児休業取得者全員が職場に復帰しており、不安なく子育てをしながら業務にあたっているようです。

## より育児休業が取りやすくなります!

### 育児・介護休業法が改正されました (令和4年4月1日より順次施行)

●「産後パパ育休」の創設・・・育児休業とは別に、男性が、子どもが生まれてから8週間以内に4週間まで休業できる新しい制度が始まります。2回に分割することもできます。(令和4年10月1日施行)

●育児休業の分割取得・・・子どもの出生8週間後以降に取得する育児休業を、2回に分割して取得できるようになります。(令和4年10月1日施行)

そのほか、事業主は妊娠・出産(本人または配偶者)の申し出があれば、制度を周知し休業を取得する意向を確認することが義務付けられるなど、男女とも仕事と育児を両立できる環境作りを目指します。

## 株式会社 フジワラテクノアート

本社：岡山市北区富吉。代表取締役社長藤原恵子。1933年創業。醸造機械、食品機械、バイオ関連機器等の開発、販売及びプラントエンジニアリング事業。世界28カ国に輸出。従業員151人。

月1回手書きで会社の様子をまとめたメッセージを届けたり、ビジネス版コミュニケーションツールを使って社内共有の内容を知らせたりしています。

### 従業員の声

#### ■女性 (40代) .....

産休育休を取得、復帰後は時短勤務で働いています。仕事と子育ての両立は大変なことが多いですが時間有休や看護休暇を取得しやすい環境が整っておりとても助かっています。また周りの皆さんの理解もあり子育てに優しい社風に感謝しています。

#### ■男性 (20代) .....

育児休暇、看護休暇を取得しました。そのおかげで、仕事にも全力で取り組みながら、子どもともしっかりと向き合うことができています。休みを必要な時に取ることができるので、家族からも感謝されますし、会社に連れて来る機会もあり、自慢できる会社です。

### Q 課題や成果は

ほとんどの社員が時間単位の有給休暇やリフレッシュ休暇を取得しています。制度を導入して非常に効率的に利用されていると実感しています。

育児休業については女性は約1年、男性は短期間ですが取得しています。現在、女性3人、男性1人が短時間勤務制度を利用して仕事と子育ての両立をしています。

女性の活躍を推進していますので、技術職や係長以上の女性が増えています。

近年採用時の応募者が激増しており、当社のこのような取り組みの成果だと思っています。

### Q さらに目指すのは

当社は育児・介護・治療と仕事の両立支援を積極的に推進しており、2021年には「日本創生のための将来世代応援知事同盟」より、子育て支援や働き方改革等に先進的に取り組む事業所として、岡山県において「将来世代応援企業」に選ばれました。

今後も性別や世代に関係なく働きがいのある職場づくりに取り組み、社会に貢献してまいりたいと考えています。



代表取締役社長 藤原恵子 氏

長期で休業している社員の不安を少しでも解消し、スムーズな職場復帰をサポートするため、

告知

# さんかくウイーク 2022

岡山市男女共同参画推進週間

テーマ▶「個性を認め みんなでつくろう あしたの社会」

記念イベント▶2022年6月19日(日)

※さんかくウイーク期間中は、上記日程以外にさんかく岡山、公民館、図書館など市内各所で様々なイベントを開催いたします。

令和4年6月21日から27日を「さんかくウイーク（男女共同参画推進週間）」と定め、前後1週間を含めた約3週間の期間中、男女共同参画への理解を深めていただくためのイベントを開催します。詳しくは5月上旬に、女性が輝くまちづくり推進課ホームページやさんかく岡山、区役所、公民館などで配布するチラシをご覧ください。

過去のさんかくウイークで開催したイベント▶



## 男女共同参画社会の形成の促進に関する事業者表彰

岡山市は雇用の分野における男女共同参画の形成の促進を図るために、積極的に取り組んでいる事業者を表彰しています。

令和3年度  
受彰事業者の  
ご紹介



### 株式会社カイタックホールディングス

小学校3年生までの子を養育する従業員の短時間勤務の導入など仕事と育児の両立を支援するための福利厚生制度を充実し、女性も男性も働きやすい社内制度づくりに取り組んでいることが高く評価されました。

### 菅公学生服株式会社

仕事と育児・介護の両立を積極的に支援するため、テレワーク・時差出勤等の柔軟な働き方ができる制度を導入し、職場の働き方改革の推進に積極的に取り組んでいることが高く評価されました。

### 株式会社マイスタイル

社員の保育所無料利用など仕事と育児の両立を支援するための福利厚生制度が充実し、働きやすい社内制度づくりに取り組んでいることが高く評価されました。

### 株式会社トマト銀行

育児にかかる費用の一部を育児支援給付金として支給するなど仕事と育児・介護の両立を支援するための福利厚生制度が充実し、女性も男性も働きやすい社内制度づくりに取り組んでいます。さらに、女性の職域の拡大や女性のキャリアアップ支援のための研修の開催など女性活躍に関する取り組みを実施していることが高く評価されました。



▲過去に  
表彰された企業

## 編集委員の ちょっと一言

### ジェンダー平等の社会へ

儒教文化の影響もあって男女共同参画社会の形成が遅々として進まず、懸念されてきた。しかし、東京五輪のコンセプトに「一人ひとりが互いに認め合い（多様性と調和）」が掲げられ、その重要性が市民の間に急速に浸透してきた感がある。「男性優位」からジェンダー平等の社会へ。五輪の成果としてぜひ実らせたいものである。  
(藤田学)

### 「多様性を認め合う社会」に

コロナ禍、非正規、高齢、介護を経験したこの2年間私を支えてくれた「さんかく岡山」での活動、編集会議はどんな困難な時でも前へ向かっていく勇気を与えてくれました。グローバル化した社会では、多様な生き方を認め合うことが大切です。  
(万城公美子)

### 多様性への理解深めたい

先日、小学生と幼稚園児の子どもと一緒にLGBTQ+の啓発パレードを見かけました。綺麗なレインボーカラーを掲げた一団を見た娘に「あれは何をしているの？」と聞かれ、私なりに知っていることを伝えましたが、まだまだ力不足。自分の理解が浅いことを人には説明できません。私自身がもっと知りていかなければと痛感しました。  
(吉田可南子)

### 自分も柔軟に

コロナ禍でいろいろな事が変わりつつあります。その中で自分らしさや個人の尊重を考えた時に、一人ひとりの多様性を認めて大切にする事が求められるようになってきたのだと思いました。まず自分も柔軟に一人ひとりの個性をさらに大切に理解したいと思いました。  
(藤井里枝)

# ◀◀◀◀◀ 「さんかく岡山」の事業 ▶▶▶▶▶

令和3年度

個性と能力を発揮することができる男女共同参画社会を目指す人材の育成や、企業での女性活躍を目的とした講座、子ども向けの体験プログラム（出前授業）、イベントなどを開催しています。

ここでは、その中からいくつかの事業をご紹介します。

## ◆さんかくマルシェ

年齢・性別に関係なく、だれにでも身近に訪れる問題

### 「男の介護講座」

高齢化・核家族化・晚婚化・長寿化などが絡み合い…

「老老介護」「認認介護」「介護難民」などが、昨今、深刻化しています。

もはや介護は年齢・性別に関係なく、だれにでも身近に訪れる問題です。それらを現場での経験を通して、中国短期大学総合生活学科講師：名定慎也さんに実技を交えて、すぐに役立つようになります。

○参加者の感想

- ・介護や介助は大変なイメージがあったが、コツや便利な用品を知ることができ、介護に対して見方が少し変わってきた。（移動や着替えは、被介護者の使える能力を最大限に使うことで本人の体力の退化も防げ、介護者の負担も楽になるなど）
- ・介護現場の経験豊富な講師の話は大変説得力があってわかりやすく、また福祉用品の具体的な使い方の実技はとても役立った。



## ◆男女共同参画学習支援事業

オンライン講演会 -性暴力に“沈黙”しない社会へ-

### 「弁護士ママがこれからの男の子たちへ伝えたいこと」

「スカートめぐり」や「カンチヨー」ってどう思いますか？

好意の裏返し？やんちゃなイタズラ？

子どもだからと見過ごしてしまいがちな事柄がどんな影響を与えるのでしょうか？

『これからの男の子たちへ』の著書で弁護士の太田啓子さんを講師に、男性が性差別・性暴力の加害者になってしまう意識にスポットをあて、“有害な男らしさ”に気付き、ジェンダーに敏感な眼差しで、社会構造を変えていくには、生まれた時からの男の子の育て方が大事であると伝えていただきました。

子どもたちに「男らしさ」に縛られることなく、性差別・性暴力に積極的に抗う（あらがう）ことのできる人に成長してほしいとの願いを込めて活動している太田さん。そのためには、包括的性教育がいかに重要なカギとなるか、具体的な事例から性被害をなくすためのヒントを得ることができました。

○参加者の感想

- ・活動をしていると「女性は十分強くなった。これ以上どうしろと…」という意見をぶつけられることがあります。こういう考え方を男性側のマジョリティ特権に裏付けられているのだとわかりました。
- ・YouTubeやゲームの中にも女性差別はあふれています。怒りながらもどう行動したらよいかわかりませんが、太田先生をはじめ、声をあげる女性たちの背中を見て、励まされ、成長している人間がいることを伝えたいです。
- ・とても良かったです！わかりやすく、すんなり理解できました。ジェンダーギャップ120位の日本の男女格差、次世代にはこの負の遺産を引き継ぎたくない、という熱意を感じました。



## ◆さんかくカレッジ専門コース

東日本大震災から10年・コロナ禍の今こそ！

### 「誰一人取り残さないジェンダーの視点で考える防災」

「ジェンダー」の視点は災害対策を考えるうえで、あらゆる性別・あらゆる段階において重要です。前期講座では、障害があり女性であることの複合差別、災害時の性暴力、各地の取り組みなど、全8回を通して様々な切り口で専門の講師から学び、後期講座では前期講座の学びをもとに啓発パネルを作成しました。

○参加者の感想（前期講座から）

- ・平時の社会の状態、価値観がそのまま災害時にもちこまれる。しかし災害時こそ多様な視点が必要。平時からのジェンダー視点を見直す必要があると思った。
- ・災害時にかかわらず性暴力に遭った被害者が不当な我慢を強いられたり相談できなかったりするのが日本の社会構造そのもの。日頃から性暴力について知識をつけ自主防災組織や決定権のある立場に就くことが必要。
- ・「『違い』に配慮する」、「意思決定に様々な人がかかわる」という2つのキーワードに気づきました。配慮が必要な方が声をあげにくい現状を変えなければという緊急性を感じました。
- ・自主防災組織に参加する女性の確保の方策を学びました。女性の意見を求める必要がある。積極的に。



岡山市男女共同参画社会推進センター

# さんかく岡山を利用しませんか

「さんかく岡山」は、年齢や性別を問わず、どなたでもご利用いただけます。岡山市の男女共同参画を推進するための活動拠点であり、様々な講座やイベントも開催しています。お気軽にお立ち寄りください。



**会議室**  
(有料・要予約)  
最大100人まで  
ご利用いただけます。



**ミーティングルーム**  
(無料・要予約)  
3人以上のグループで3時間  
まで利用できます。グループで  
の自主学習などにぜひどうぞ。



**展示ギャラリー**  
(無料・要予約)  
市民のみなさんへ作品を発表  
できる場を無料で提供してい  
ます。



**図書**  
1回5冊まで。  
貸出期間は2週間です。



**託児室** (有料・予約制)  
生後6か月～就学前のお子さ  
んを3時間までお預かりしま  
す。買い物などの際にもご利  
用いただけます。

## 「さんかく岡山」

### 登録団体・グループになりませんか

男女共同参画社会の実現をめざして活動する市民団体・グループが、より便利に、効果的に「さんかく岡山」を活用するための登録制度があります!!

現在 約50の  
団体・グループが  
活用中

### 7つの登録特典

- ① 会議室使用料の減額
- ② 会議室の利用予約が7か月前から可能
- ③ ミーティングルーム(無料)の利用予約が3か月前から可能
- ④ 各種講座案内等の情報提供
- ⑤ 情報コーナーの活用
- ⑥ 印刷機の利用
- ⑦ メールボックスの利用

さんかく岡山 登録団体

検索

**住所** 〒700-0822  
岡山市北区表町三丁目14-1-201  
(アーバスクエア表町2階)

**電話** 086-803-3355 **FAX** 086-803-3344

**電子メール** [sankaku@city.okayama.lg.jp](mailto:sankaku@city.okayama.lg.jp)

**ホームページ**

<https://www.city.okayama.jp/0000005879.html>

※ 講座・イベント等のさんかく岡山の施設情報は  
こちらから

**開館時間** 月・水～土／9：30～20：00  
日・祝／9：30～17：00

**休館日** 火曜日、年末年始(火曜日が祝日の場合は開  
館し、次の平日が休館となります。)

